

## シルバップ既調合

シルバップ既調合は、特殊合成樹脂ワニスにリーフィングタイプのアルミニウムペーストを配合した塗料で、微細な鱗片状のアルミニウム片がビヒクル中に幾重にも重なり合った層を作ります。この塗料中の銀色のアルミニウム金属片の層が、日光すなわち可視光線・紫外線・赤外線を反射しますので、化学的な塗膜の老化を防ぎ、また層状の構造が水分の浸透を妨げ、塗膜に強い耐候性を与えるためすぐれた外部用塗料として使用されています。また、日光その他の熱線・放射線をよく反射しますので、内部の温度上昇を妨げ作業条件の改善・溶剤揮発による損失や危険の緩和に役立ちます。シルバップ既調合は、熱の反射のよさ・高温の条件化における変色の少なさ、またアルミニウムペーストの金属に対する付着性の良好な性質、塗膜が焼結すると金属面に溶着する性質などにより耐熱塗料としても広く使用されています。

### 特長

#### 1. 作業性が良い

使用前にアルミニウムペーストを調合する必要がないので、アルミ粉の飛散がありません。

また、粘度ははけ塗り用に調合されておりますので、そのままの状態で使用することができます。

#### 2. すばらしい光沢

塗り肌は完全に平滑で光沢にすぐれています。また、色調は磨かれたアルミの肌に近い感じに仕上がります。

#### 3. 貯蔵性にすぐれる

長期にわたって、すぐれたリーフィング性と流展性を保持しています。従って、塗装の際の使い残り品は缶に密閉しておけば、変色・変質がなく使用することができます。

### 容量

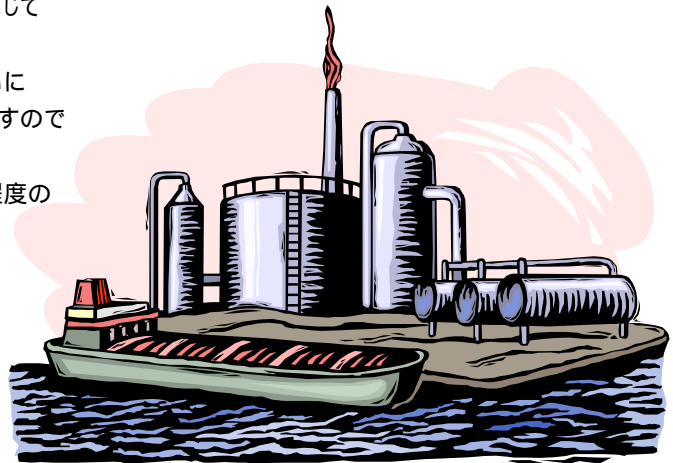
16L・4L・1L

### 用途

石油タンク・鉄塔・橋梁・建築物の外装および鉄骨、船舶の外装およびホールド、車両・機械器具・エンジンルーム・ボイラーなどの耐熱塗装

### 使用法

1. 使用前に完全に均一になるまでかき混ぜてください。在庫中に多少アルミニウムペーストが沈殿している場合がありますので、沈殿が完全に分散するように注意してください。
2. 被塗物の表面は、サンダーなどの機械的な手段、またはスクレーパー・ケレン棒・ワイヤーブラシなどを用いて、表面についている錆・ミルスケール・付着物を完全に除去してください。その後、シンナーで油分・ほこりを完全にふき取ったのち、錆止め塗料を塗装し、充分乾燥した状態でシルバップ既調合を塗装してください。
3. シルバップは、はけ塗りの粘度に調整されておりますが、必要に応じて塗料用シンナーで粘度を調整してください。
4. シルバー塗装の保護性能は、塗膜の中のアルミニウム粉がきれいに層状をなし、また美観は均一にリーフィングすることにかかっていますので“つぎむら”、“はけ返し”には特に留意してください。  
また、一回に厚塗りしすぎると「うみ」を生じやすいので20～25μm程度の膜厚になるように塗装してください。



## シルバップ既調合 試験成績表

項目	規格	成績
容器の中での状態	かき混ぜたとき堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
密度(g/cm <sup>3</sup> /23 )	0.95 ~ 1.10	0.96
作業性	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない。	合格
乾燥時間h(表面乾燥性)	16 時間以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
鏡面光沢度(60 度)	100 以上	125
隠ぺい率(%)	90 以上	95
耐屈曲性	105 ~ 110 で5時間加熱した後、直径 10mm の折り曲げに耐えるものとする。	合格
耐水性	18 時間の浸せきに耐えるものとする。	合格
加熱残分 %	45 以上	49
促進耐候性(キセノンランプ法)	240 時間の照射に耐えるものとする。	合格
屋外暴露耐候性	1 年間の暴露に耐えるものとする。	合格

上記数値は標準のものであり、若干の変動はあります

## シルバップ既調合 塗装仕様

工程	処理法	回数	塗付量 / 回	塗装間隔
1・素地調整	錆落としおよび油分・ほこりの除去			直後
2・下塗り	ラストップ ZS	2 回	160g/m <sup>2</sup>	16 時間以上
3・上塗り	シルバップ既調合	2 回	100g/m <sup>2</sup>	15 時間以上

### 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い作業は火気のないところで行い、屋内作業場所では局所排気装置を設けてください。
- 塗装中、作業中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクをつけ、さらに頭巾、保護めがね、えり巻きタオル、保護手袋などをしてください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- よくフタをし、40 以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- シンナー遊び、汚れ落としなど本来の目的以外に使用しないでください。
- 缶の持ち運びの際には、手環はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げる様に取り扱ってください。
- 容器を切って使用する場合は、手を切る恐れがありますので保護手袋などを使用してください。

### 緊急時及び応急処置

- 容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後に処理してください。また、容器などに付着した塗料はウエスなどで拭き取り、破棄してください。
- 皮膚に付着した場合は、ただちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 火災時には、炭酸ガス・泡・粉末消火器を用いてください。

### 廃棄上の注意

- 廃塗料・塗料カス・廃溶剤・容器などの廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの定めに基づいた処理業者に委託してください。
- 本塗料は自然発火の可能性があり、塗料が付着した布類や塗料がすは廃棄するまで水に浸しておいてください。

### 特約店



本社 〒661-0001 兵庫県尼崎市塚口本町二丁目 4 1 番 1 号 06-6421-6325 (代)  
 営業所  
 仙台 022-782-8250 金沢 076-231-1907  
 北日本 024-959-4777 (代) 大阪 06-6421-6363 (代)  
 東京 03-5661-1501 (代) 広島 082-293-6868 (代)  
 浜松 053-412-1000 九州 092-541-3461 (代)  
 名古屋 052-501-8211 (代)  
 ホームページアドレス <http://www.kawakami-paint.co.jp/>